



～刈谷スマートシティ～ 次元を超えたまちデザイン「メタかりチャレンジ」の実証実験について

愛知県スマートシティモデル事業に選定された、次元を超えたまちデザイン「メタかりチャレンジ」の実証実験を行います。

本市では、アフターコロナの施策として「にぎわい」を1つのキーワードとしています。現状の飲み屋街としてのにぎわいのほか、新たなにぎわいを獲得するため、若者世代をターゲットとした仮想空間内の活性化を目指し、仮想空間内でのにぎわい創出を議論するワークショップを複数回開催し、若者世代が本当に楽しいと思うデジタルフィールドをともに創り上げます。このような次元を超えた刈谷のまちをデザインする「メタかりチャレンジ」を通し、結果的にまちに関心を持つようになり、にぎわい創出につながる心象変化が起きることを検証します。

1 実証実験の内容



市内在住/通勤通学する高校生・大学生を募集し、仮想空間内での刈谷駅北口・南口付近の散策を通し、以下を議論するワークショップを複数回開催します。

- にぎわい創出につながる施策アイデア
- 仮想空間の持続性に関する意見出し
- 現実の刈谷駅周辺に対する心象変化の有無

(1) ワークショップ日時

- ア 令和6年10月21日(月) 17:00~19:00
- イ 令和6年12月19日(木) 17:00~19:00

(2) 開催場所

- ア 産業振興センター603会議室(刈谷市相生町1丁目1-6)
- イ 産業振興センター604会議室(刈谷市相生町1丁目1-6)

2 実施主体(コンソーシアム)と構成員の役割

メタかりチャレンジコンソーシアム

- (1) 刈谷市企画政策課 全体調整、ワークショップ開催取りまとめ
- (2) 株式会社アイシン 仮想空間のコンテンツ開発、実証サポート

3 現地での取材対応について

取材を希望される場合は、各ワークショップの前日17:00までにご連絡ください。ワークショップの開催時間内において、コンソーシアム構成員の各スタッフが対応いたします。

4 問合せ先

刈谷市企画財政部企画政策課みらい共創係

電話 0566-95-0003

メール kikaku@city.kariya.lg.jp